

2011年2月8日 電話会議

2011年3月期第3四半期業績概況資料

(2871)

株式会社ニチレイ

【お問合せ先】

広報IR部 田中 久

TEL: 03-3248-2235

E-mail: tanakah@nichirei.co.jp

URL: <http://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

2011年3月期第3四半期連結業績と通期業績見込

単位:億円 (未満切捨て)	第3四半期(3Q)		第3四半期(累計)		通期		
	実績	前年同期間 比増減	実績	前年同期間 比増減	(E)	前年同期間 比増減	前回(E) 比増減
売上高	1,178	+12	3,371	-18	4,352	-29	-
営業利益	61	+3	151	+17	170	+1	-
経常利益	60	+6	146	+23	160	+5	-
当期純利益	35	+3	87	+7	63	-27	-28
EPS(円)	11	+1	28	+3	20	-9	-9

注:(E)は今回発表した見込で、前回(E)は2010年10月26日に発表した見込。

1. 売上高

- ① 3Q(10~12月)は全体では前年比1%の増収。
- ② 加工食品は業務用チキン製品が大きく牽引したことに加えマーケットが好調な家庭用も貢献し7%の増収。水産は産地価格が上昇するなか採算面を重視し慎重な取扱いを徹底したことから5%の減収、低温物流は地域保管の在庫率低下が響き2%の減収。
- ③ 通期目標は前回予想を据え置く。

2. 営業利益

- ① 3Qは全体では前年比3億円の増益。
- ② 加工食品は増収効果が寄与し7億円増益。水産は取扱いの絞込みもあって1億円の減益、畜産は市況回復により利益を確保するも前年比では1億円の減益。低温物流は物流ネットワークが計画通り推移して増益になるが、冷蔵倉庫の新設による減価償却費増と在庫率の低下による地域保管の減益をカバーしきれず2億円の減益。
- ③ 通期目標は前回予想を据え置く。

3. 経常利益・当期純利益

- ① 退職給付制度変更に伴う特別損失68億円と区分地上権の設定による特別利益30億円(いずれも4Qで計上)の発生にともない12月21日に通期見込みを修正している。

2011年3月期第3四半期セグメント別売上高・営業利益と通期見込

単位：億円(単位未満四捨五入、一部で端数調整あり)

	第3四半期(3Q)			第3四半期(累計)			通期					
	実績	前年同期間比		実績	前年同期間比		(E)	前年同期間比		前回(E)比		
		増減	率		増減	率		増減	率	(E)	増減	
売上高	加工食品	427	26	7%	1,236	-19	-1%	1,603	-18	-1%	1,603	0
	家庭用調理品	124	7	6%	356	7	2%	468	4	1%	468	0
	業務用調理品	215	24	12%	591	-8	-1%	782	8	1%	782	0
	健康価値	11	-7	-41%	37	-30	-45%	52	-28	-35%	52	0
	その他	78	4	5%	250	12	5%	301	-3	-1%	301	0
	水産	196	-11	-5%	540	-3	-1%	670	-2	-0%	670	0
	畜産	214	3	2%	598	4	1%	770	-6	-1%	770	0
	低温物流	363	-6	-2%	1,065	2	0%	1,402	12	1%	1,402	0
	物流ネットワーク	203	3	1%	587	16	3%	774	21	3%	774	0
	地域保管	117	-3	-2%	341	-11	-3%	444	-8	-2%	444	0
	海外	41	-1	-3%	121	-5	-4%	161	-4	-3%	161	0
	その他・共通	2	-4	-68%	16	1	9%	23	3	14%	23	0
	不動産	16	-1	-6%	51	-1	-3%	67	-3	-4%	67	0
	その他	17	-0	-1%	47	-4	-7%	63	-6	-9%	63	0
	全社または消去	-54	1	—	-166	3	—	-223	-6	—	-223	0
合計	1,179	12	1%	3,371	-18	-1%	4,352	-29	-1%	4,352	0	
営業利益	加工食品	18	7	70%	43	27	172%	47	21	84%	47	0
	水産	3	-1	-26%	10	2	25%	10	1	12%	10	0
	畜産	2	-1	-27%	3	-3	-53%	3	-4	-56%	3	0
	低温物流	26	-2	-6%	65	-4	-5%	73	-6	-7%	73	0
	物流ネットワーク	9	2	28%	23	7	39%	27	7	34%	27	0
	地域保管	17	-2	-11%	40	-7	-15%	43	-10	-19%	43	0
	海外	1	-0	-19%	5	-2	-24%	6	-1	-17%	6	0
	その他・共通	-2	-1	—	-4	-1	—	-3	-2	—	-3	0
	不動産	9	-0	-3%	28	0	0%	38	1	2%	38	0
	その他	2	0	34%	4	1	24%	3	-1	-30%	3	0
	全社または消去	1	-1	—	-1	-5	—	-4	-11	—	-4	0
合計	61	3	5%	151	18	13%	170	2	1%	170	0	

1. 加工食品

- ①売上高は業務用が年末需要に向けたチキン製品拡販を計画通り進捗させ前年比12%の増収となったことに加え、家庭用では秋の新商品寄与や増量セール効果により6%の増収となりマーケット水準を上回った。冷凍野菜も7%増となった。全体ではアセロラ飲料の事業譲渡による減収要因を吸収し7%増収となった。
- ②営業利益は前年比7億円の増益、原料コスト低下やチキン製品の採算改善は一巡したが、業務用を中心とした増収や工場の生産性改善効果がでた。またアセロラの原料供給が伸びている事も増益要因となった。
- ③通期は前回予想を据え置く。売上げは引き続き前年を上回る水準で推移すると見込むが、4Qの営業利益予想は前年比で6億円の減益。前回予想に織り込んだ通り計画より3ヶ月遅れで昨秋稼働したタイのチキン製品生産工場が立ち上げ段階の低稼働率が原因で前期比4億円の減益要因になるほか、通期業績改善に伴う賞与引当てなどの人件費増を見込む。

2. 水産

- ①売上高は前年比5%の減収。営業利益は1億円の減益。多くの魚種の産地相場が上昇して厳しい環境が続くが、利益重視で取扱いを絞り込む一方、ユーザー向け商材の取扱いは順調に増加し利益を確保した。
- ②通期予想は売上高、営業利益とも前回見込を据え置く。産地価格の上昇が続いているため慎重な取扱いとユーザー向け商材の拡販に注力する。

3. 畜産

- ①売上高は前年比1%の増収、営業利益は1億円の減益。口蹄疫・猛暑の影響を受けた上期から大幅に回復。輸入チキンは価格が低迷するなか産地価格が上昇し減益だったが、市況が回復した国産チキン・ビーフ、加工品が収益に貢献した。
- ②通期予想は売上高、営業利益ともに前回予想を据え置く。輸入品の産地価格の上昇は続くが利益重視で取扱いを絞り込み、順調な国産品でカバーする。

4. 低温物流

- ①全体では売上高は前年比2%の減収。ネットワークが好調だが減価償却費負担が増えた地域保管と海外の減益をカバーできず営業利益が2億円減益。
- ②物流ネットワーク:売上高は1%増収。新設TC(通過型センター)や輸配送業務の増収が寄与。配送効率向上による採算改善も進み営業利益は2億円増益。
- ③地域保管:売上高は2%の減収、減価償却費増1億円もあり営業利益は2億円減益。冷凍食品や畜産品の在庫量は回復してきたが、異常気象による水産品の漁獲減少や荷主の在庫圧縮により在庫率が低下している。
- ④海外:売上高は3%の減収、営業利益は微減。為替の影響を除くと仏のゴドフロア社買収により増収。果汁在庫は回復したがチキンの取扱い減少や価格競争により減益。
- ⑤通期予想は売上高、営業利益ともに前回予想を据え置く。

5. その他

- ①バイオサイエンスは培地製品が引き続き好調。前回予想を据え置く。

2011年3月期第3四半期連結バランスシートの変動要因

単位: 億円(未満切り捨て)

科目	10/12	10/3	増減	
〔資産の部〕				
流動資産	1,155	948	207	①
固定資産	1,819	1,826	-7	②
資産の部合計	2,975	2,774	200	
〔負債・資本の部〕				
流動負債	1,069	895	173	③
固定負債	650	652	-1	④
負債の部合計	1,719	1,548	171	
純資産の部	1,255	1,226	28	⑤
(うち株主資本)	1,215	1,159	55	
有利子負債	921	857	63	③
(うちリース債務除く)	692	609	83	④
科目				
設備投資額	131	157	-25	⑥
(うちリース資産除く)	116	105	11	
減価償却費	103	99	3	
(うちリース資産除く)	75	71	3	

【主な要因】

- ① 流動資産は季節的要因により売掛金およびたな卸資産が増加。
- ② 固定資産は資産除去債務の計上および設備投資による増加と不動産子会社の連結除外による減少により有形固定資産が7億円減少。仏のゴドフロア社買収によりおのれんが13億円増加。株価の下落により投資有価証券が22億円減少。
- ③ 流動負債は買掛金が65億円増加し、設備投資やゴドフロア社取得により短期借入金が67億円増加
- ④ 固定負債は資産除去債務が18億円増加。リース債務が16億円減少。
- ⑤ 純資産は利益増とユーロ安などによる減少を差し引きして28億円増加。
- ⑥ 第3四半期の設備投資の主なもの
加工食品 GFPTニチレイ(チキン加工品生産設備)

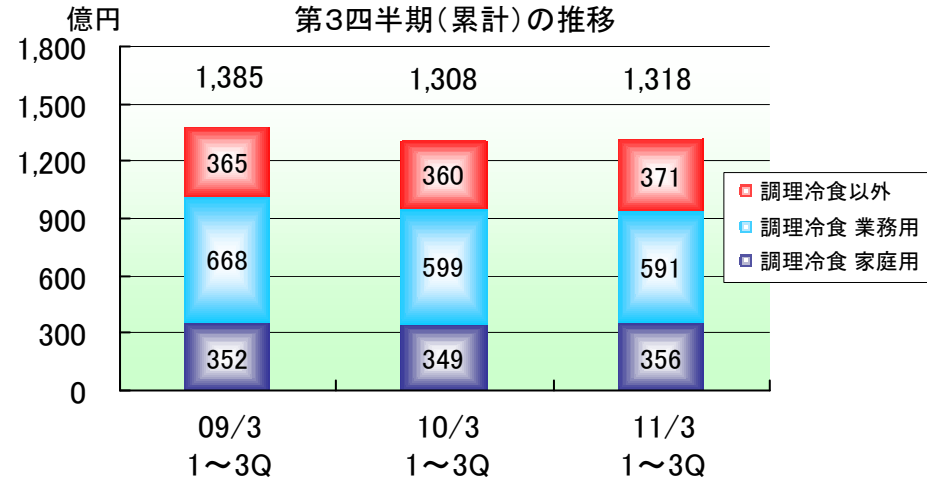
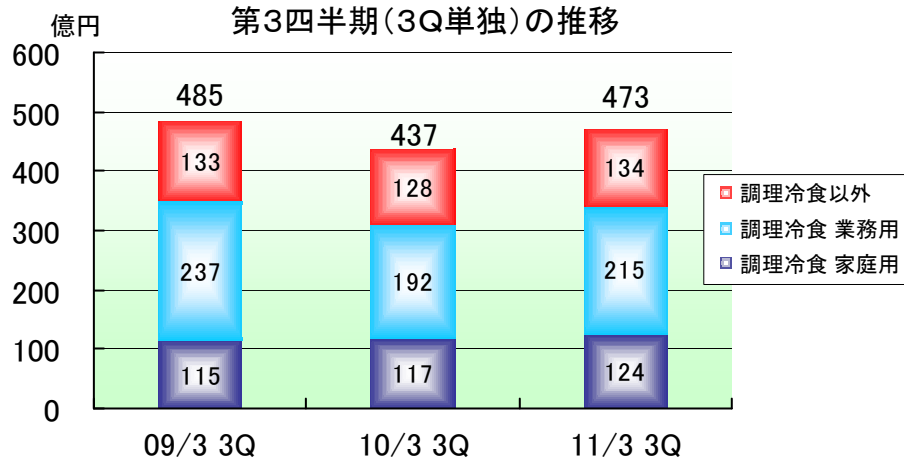
2011年3月期第3四半期 営業外収支・特別損益の変動要因

単位:億円(未満切り捨て) プラス表示は利益を示す		第3四半期(10-12月)					通期		
		10/12	09/12	増減			(E)	前年同期間 比増減	前回(E) 比増減
【営業外収支】 (主要項目)		-1	-4	+3	【営業外収支】 (主要項目)		-10	+3	-
金融収支		-2	-3	+0	金融収支		-11	+0	-
その他営業外収 益		+1	-1	+2	持分法投資損益		+2	+2	-
【特別損益】 (主要項目)		-1	-3	+1	【特別損益】 (主要項目)		-56	-45	-38
出資金評価損	①	-2	-	-2	事業譲渡益	②	-	-8	-
固定資産除却損		-0	-2	+1	区分地上権設定益	③	+30	+30	+30
					資産除去債務会計基 準適用影響額	④	-7	-7	-
					退職給付制度変更損	⑤	-68	-68	-68

- ① 不動産子会社出資金の評価減
- ② 前年度に発生したアセロラ飲料事業譲渡益がなくなったため
- ③ 区分地上権の設定に伴う特別利益
- ④ 資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失
- ⑤ 退職給付制度の変更に伴う特別損失

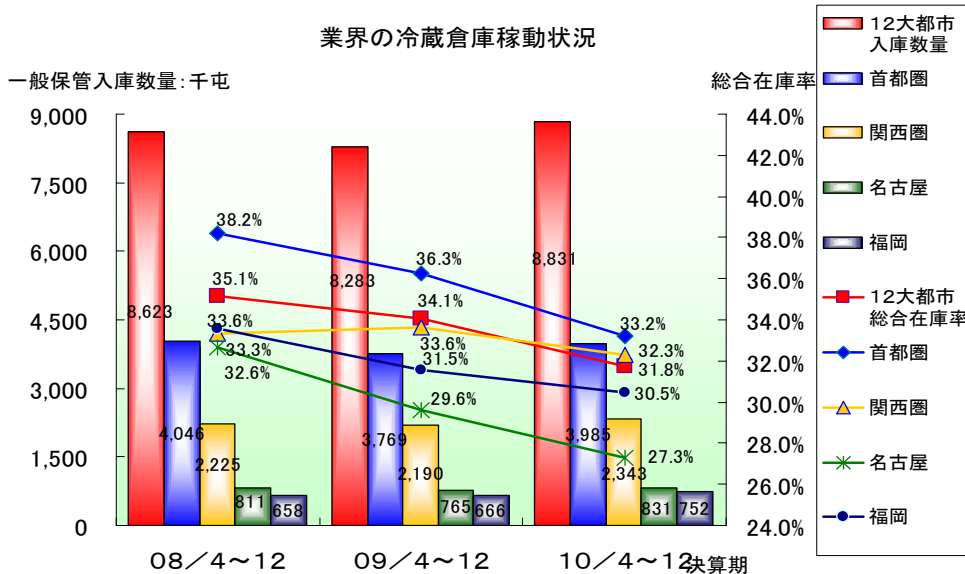
参考データ

冷凍食品売上高の推移 (日本冷凍食品協会定義にもとづき、加工食品のほか水産畜産の売上も含む)

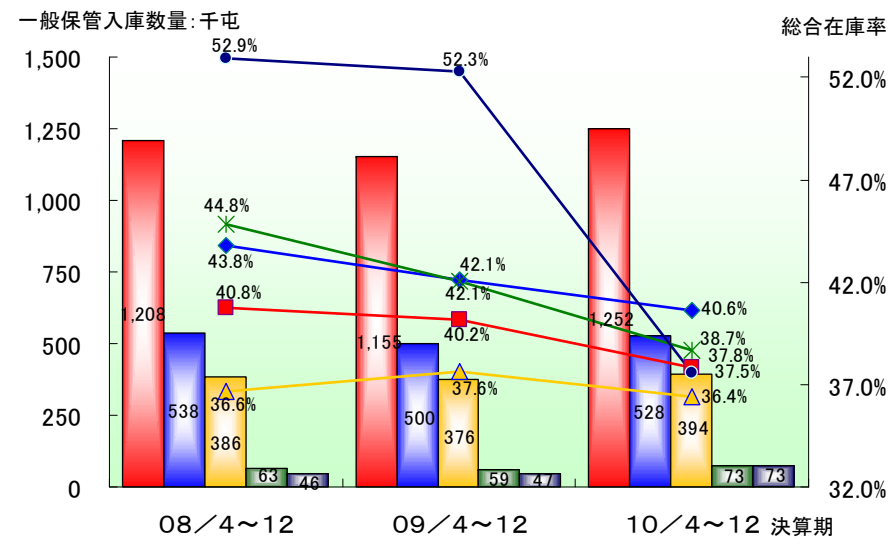


冷蔵倉庫の稼働状況 (業界は日本冷蔵倉庫協会資料を当社で加工)

業界の冷蔵倉庫稼働状況



当社の冷蔵倉庫稼働状況



* 札幌石狩地区、名古屋尾北地区を含む

当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果
など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。